

やさしいまち

2018.

9

— 優しさ織りなす SAPPORO —

No. 227

今号の社協のひと

→P10



「チャレンジする」
地域を拠点にした新しい小規模ダイサービスを開始

まもりん活動中!

→P09



SAPPORO SHAKYO HEART KNIT



さっぽろ社協ハートニット

「さっぽろ社協ハートニット」とは、SAPPORO SHAKYOの2つの「S」を編み込んで4つのハート(こころ)を織り上げた、札幌市社会福祉協議会のシンボルマークです。

特集

→P02



ご寄付ありがとうございました

- 2018年 6月6日 丹野 千枝美 様
 6月14日 福本 正志 様
 7月11日 全日本音楽教室指導者連合会
 北海道地区予選実行委員会 様
 7月11日 フラワーショップ花れん 様
 7月18日 一般社団法人札幌斎場 様
 7月18日 大小田 八尋 様



全日本音楽教室指導者連合会
北海道地区予選実行委員会 様



一般社団法人札幌斎場 様

内部広報 「今日のイネ」より

●「今日のイネ」とは…

職員が「これは良い!」と感じた、6つのアクションを実践する活動や行動を取り上げて紹介・共有するしくみです。

道新適職フェアに参加してきました。当日は14名の方に、お話をしました。社協とご縁ができたかと、心より祈っています。

<投稿者>
職員係長
大能



育成する

6月23日(土)に「かでる2・7」にて「第3回スピーチマラソン」を開催いたしました。当日はスタッフを含め200名が障がい当事者たちの熱いメッセージに耳を傾けていただきました。今後、ボランティアさんが電子書籍化する予定であります。当日、ご来場いただきました皆様、ありがとうございました。

<投稿者>
ボランティア活動係
原



共感する

暑さの続く中、長生園では入園者の方と一緒に大通公園までお散歩に行ってきました。よさこいソーランまつりの真っ只中で、少し外れた大通り公園で初夏のひと時を満喫してきました。

<投稿者>
長生園副園長
伊藤



つなげる

広報戦略会議の2回目が開催されました。①組織強化チーム ②ホームページチーム ③紙チームに分かれています。「社協は、市民から見てどんな団体なんだろう?」と振り返りながら自問自答です(*_*)改めて考えてみると、社協は、子どもからお年寄りまで生活を丸ごと支援する団体ということを確認し、社協のすごさを実感しました。他のチームでも面白いアイデアがたくさん出たようです!このすごさを広報力で、より多くの方に社協の魅力伝えていきたいです。

<投稿者>
権利擁護係
芳賀



チャレンジする

東事業所では、相談センター4チーム、ヘルパーセンター4チームに分かれ、東区内の利用者さんの支援をしています。ご利用者さんの在宅生活を支えるために、各チームで目標を立て、発表しました。チーフ・主任を中心に相談センター・ヘルパーセンター職員一丸となり、在宅生活を継続できるよう支援していきたいと思っております。

<投稿者>
東相談センター
東ヘルパーセンター
一同



組織を強くする

お問い合わせ先 一覧

電子書籍ポータルサイト「hokkaido ebooks」でもご覧になれます。
<https://www.hokkaido-ebooks.jp/>

社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会 〒060-0042 札幌市中央区大通西19丁目1-1 札幌市社会福祉総合センター 3階
 <代表> 電話 614-3345 FAX. 614-1109

総務部

- 総務課・展示ホール 614-3345
 経営財務課 614-3343
 情報センター資料室 614-2001
 社会福祉総合センター 614-2948

地域福祉部

- 地域福祉係 614-3344
 生活福祉係 614-0169
 札幌市共同募金委員会 614-3532
 ボランティア活動センター 623-4000
 福祉人材研修係 623-0010
 ほっ・とプラザ 623-4010
 さっぽろ子育てサポートセンター 623-2415
 高齢者・障がい者生活あんしん支援センター
 (権利擁護係・相談係) 632-7355

介護事業部

- 介護事業課 623-0001

施設福祉部

- 施設福祉係 614-1002
 養護老人ホーム長生園 614-1171
 札幌市保養センター駒岡 583-8553

地域包括部

- 地域包括課 623-4021
 調査課 623-4022

中央区社会福祉協議会 281-6113

北区社会福祉協議会 757-2482

東区社会福祉協議会 741-6440

白石区社会福祉協議会 861-3700

厚別区社会福祉協議会 895-2483

豊平区社会福祉協議会 815-2940

清田区社会福祉協議会 889-2491

南区社会福祉協議会 582-2415

西区社会福祉協議会 641-6996

手稲区社会福祉協議会 681-2644



ホームページでもご覧になれます。
<http://www.sapporo-shakyo.or.jp/>

地域を拠点にした 新しい小規模デイサービスをスタート

社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会 介護事業部長 鈴木 紀子

本会では、医療と福祉と介護の連携を図りながら「住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるサービス」を実現することについて、平成28年から組織内にプロジェクトを立ち上げて検討しています。

具体的には、地域のつながりを大切にしながら、社協の持つ①社会福祉士・ケアマネ・看護師・ホームヘルパーなどの福祉人材、②福祉のまち推進員やボランティアなどによる地域の見守り体制、③地域包括支援センターや相談センターなどの相談機能、④ボランティア活動センターや福祉人材を育成する研修機能を活用して、身近な地域で介護サービスや福祉相談、あるいは機能訓練が受けられる福祉拠点づくりを議論してきました。



▲開所式の様子

「まもりんガーデン澄川」がオープン

所長をはじめ介護職員4人と近隣住民の方々や民生委員、福祉のまち推進員、町内会の役員の方々の協力で今年5月15日に小規模デイサービス「まもりんガーデン澄川」を開所し、今では十数名の高齢者の方々に様々なサービスを提供しています。

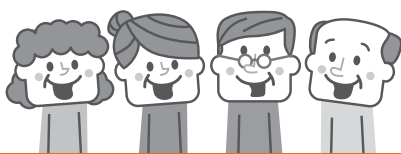
「まもりんガーデン澄川」での活動で職員が常に心がけていることは、家庭的な「あずましい雰囲気づくり」と「お花であふれた庭づくり」を大切にしていくことです。ある日利用者の方から「マンション住まいなので、ここで庭を見るのが楽しみです」と言われ、民家の特性を活かしたサービスは高齢者にとっても安心と落ち着きにつながっていると職員が実感したことを聞き、あらためて、こうした民家の持つ家庭的な環境の中で支援することの重要性を感じました。また、近隣住民の方から「私たちも何かあったら相談にいった方がいいのですか？」と質問されたこともありました。

これからは、地域の皆さんや利用者のご家族の方々などより多くの皆さんに「まもりんガーデン澄川」の存在と活動内容を知ってもらい、地域の福祉拠点として近隣の皆さんとの交流を深めていきたいと考えています。

地域の篤志家から民家の提供が！

このように検討を進めている矢先の昨年春に、一通のメールが本会に届きました。その内容は、母親が長年暮らしていた自宅を離れて娘さんと道外で生活しているため、使っていない敷地約400坪にある二階建て約40坪の家屋と自慢の庭を「高齢者の介護や障がいのある方、地域の方々の活動のために使ってほしい」ということでした。

この思いを受けて、これまで検討してきた地域の福祉拠点づくりに着手し、民家を活用するカタチで初めて社協の自主事業として、地域密着型通所介護（小規模デイサービス）事業をスタートしました。





かわら版
まもりん
ガーデン

社協らしい在宅福祉サービスを目指して

高齢者や障がい児・者ができる限り住み慣れた住居や環境の中で、自立して生活ができるように援助することが在宅福祉サービスであり、高齢者にとっても、社会にとっても望ましいことであることは言うまでもありません。

本会は、冒頭に記したとおり「住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるサービス」を実現するために、地域組織やボランティア団体あるいはNPO法人などと力を合わせて、社協らしい地域の福祉拠点づくりを進めていきたいと思っています。

今後は、地域の皆さんが何を求めているのかなどを把握するために積極的に意見交換や情報交換をしながら、この「まもりんガーデン澄川」が地域の新たな福祉拠点として、より専門性の高い介護サービスを提供するとともに、地域の皆さんが集い、福祉の学びや体験あるいは世代間交流の場となるよう努めてまいります。

また、将来的には障がい児・者の支援ができる体制を検討し、よりきめ細かなサービスを提供していきたいと考えています。

ぜひ、多くの皆さんに立ち寄っていただけることを期待します。



▲ディールの風景

小規模デイサービス

まもりんガーデン澄川

札幌市南区澄川4条9丁目10-32

TEL. 011-206-7570

FAX. 011-206-7578

<利用可能時間>

月曜～金曜 9時30分～16時30分



生涯現役社会づくりの実現に向けて ～シニアボランティア活動の魅力を探る～

札幌市ボランティア連絡協議会 会長 高橋 唯之氏

最近よく耳にする「生涯現役社会」とは、シニアはもとより、これから年齢を重ねていくすべての方々が、豊富な知識や経験、技術を活かしながら、生涯を通じて健やかで自立した生活を送り、仕事やボランティア活動、生涯学習、スポーツなど、様々な分野でいきいきと活躍できる社会のことをいいます。

札幌市の4人に一人が高齢者という今、元気なシニアがたくさん活躍することが、明るくうおいのある地域社会づくりにつながっていきます。みなさんと、自分に合った生涯現役社会づくりに取り組みませんか？

ボランティア活動のきっかけ

私がボランティア活動を始めたのは今から30年余り前、当時白石区内にあった児童養護施設に、「子ども達のために何かお手伝いをしたい」との思いから、近所に住む有志数名で施設を訪問し、月3回程度就学前の子ども達の遊び相手をしたことがきっかけでした。とにかく施設に行き、自分にできることを提供したい！という気持ちで行動に出た結果だったように思います。その後、施設は他区へ移転しましたが、いまだに関係は続いており、先日は趣味で行う二胡(中国胡弓)の演奏をしてきました。



▲二胡の演奏ボランティア

ボランティア活動の広がり

その後、民生委員・児童委員、保護司の委嘱を受け、地域支援、個別支援活動にも取り組むなど活動の幅も広がっていきました。また平成6年には、ボランティアグループや個人ボランティアの交流と学びの場として各区に設立された、「ボランティア連絡会」の組織化にも関わり、「白石区ボランティア連絡会」、「札幌市ボランティア連絡協議会」の代表として、現在も札幌市全体のボランティア活動の推進や横の連携づくりに取り組んでいます。

ボランティア活動を続けてよかったこと

ボランティアの仲間はもちろんのこと、活動先の施設など、ボランティア活動を通じて多くの方との出会いが

ありました。平成27年には、普段はそれぞれ異なるボランティア活動に取り組んでいる白石区ボランティア連絡会の会員が一つとなって、「ふれあい・いきいきサロン※」を2か所立ち上げました。毎月楽しみに来てくれる高齢者の笑顔と感謝の言葉をいただき、継続してきてよかったとしみじみ感じています。



▲サロンでの一コマ

ボランティア活動を始め方へ

ボランティア活動をするうえで大切にしていることは、当たり前ですが『してあげる』のではなく『お互い様』という気持ちを持って活動することです。相手との対等な関係からたくさんのお会いが生まれます。また、ボランティア活動をこれから始めたい方は、「どんな活動があるんだろう?」「どうしたらはじめられるのかな?」など、様々な「?」を感じる方が多いと思います。そのような場合は気軽に、札幌市社会福祉協議会内にあるボランティア活動センターや各区社会福祉協議会に相談してみるとよいと思います。ボランティア活動の説明や活動先、研修などの情報を提供してくれますし、社協のホームページには『シニア向けボランティアハンドブック』も掲載されています。このハンドブックには、シニアボランティア活動の基礎知識や活動の種類、活動をするにあたって気をつけたいことなどがわかりやすく載っています。

最後に、各区のボランティア連絡会にもぜひ加入して、交流や学びを通じて多くの出会いを体験しながら共に仲間として活動していただければ嬉しく思います。

※ふれあい・いきいきサロン

地域で高齢者や障がい児・者、子育て中の方が、生きがい活動と元気に暮らすきっかけづくりを見つけ、地域の人同士のつながりを深める自主活動の場です。また、地域で交流の場をもうけることで住民の地域への関心を深め、近隣での助け合いを育む地域づくり活動としても全国で取り組まれています。



私たちの地域貢献活動と終活

一般社団法人 札幌斎場 理事長 久末 晃介氏

創業は社会福祉事業から

昭和45年5月1日に北海道で初の公益法人の葬儀場として設立しました。これまで生活保護世帯などの生活困窮者に対する葬儀や交通遺児の会の慰霊祭などを行ってきたところです。

また、昭和51年には墓地の取得が難しい方やお墓が遠方でお参りができない方、あるいは納骨に行けない方などのために「札幌霊堂」を完成させ、充実を図ってきました。

今年で創業48周年を迎え、その実績と経験をもとに大切な方々とのお別れをサポートしています。



▲札幌斎場外観

これまでの地域貢献

創業趣旨に基づき生活困窮者の葬儀を行うとともに、寄付などを通じて様々なカタチで地域住民の福祉の増進に寄与してきました（※P12参照）。最近ではこれらに加えて、次のような活動にも取り組みながら積極的に地域貢献・社会貢献を進めています。

・札幌市地域安全サポーターズ登録

今年、札幌斎場の近接道路で大きな交通事故がありました。また、近隣に学校や障がい児者の支援施設があり、地域的にも安全安心に大きく配慮する必要があります。そこで、職員が一丸となって地域の防犯や地域安全活動に取り組むことになりました。仕事柄、事務所には24時間職員が張り付いていることを活かし「子ども110番の店」のステッカーを掲示して、いつでも危険から子どもたちを救うことができるように「安全な場所」を確保したところです。

・チャリティーフェアの実施

東日本大震災をきっかけに、職員が野菜や果物を販売してその売上金を義援金として被災地に寄付しています。この活動は一過性に終わらず完全に復興するまで継続していきます。今年は、「平成30年7月豪雨災害」に寄付をしました。



▲チャリティーフェアの様子

終活への取組

最近よく耳にする「終活」については、ひと昔前では「死」に関する話題は「縁起でもない」と言われていましたが、今では自身の葬儀や身辺整理を考えることは当たり前になり、年々関心が高まっているように感じます。

3年前からは、市内の新聞社主催のセミナーを担当するなかで、受講者の多さに驚かされましたし、私どもへの相談も多くなっています。また、この10月には札幌市社協で終活セミナーを行う予定です。

少子高齢化が進み葬儀の規模は縮小傾向にあり、無宗教葬、直葬など多様化するなか、自分らしい最期の時を探す道標としての役割を私たちは担っています。これからもより多くの終活に関する情報を各方面に発信し、お役に立てるよう努めてまいります。

あなたとSHAKYO

～社協を気軽に活用してください!～



●札幌初！カレーパンワークショップ

本会では、地域課題や福祉課題を賛助会員企業と解決するための取組みを進めています。昨年度までは、デザインの力を借りたモノづくりで、障がい者の就労を支援するワークショップを行って来ました。

今年度は、札幌の人気カレー店「インドカレー ミルチ」と障がい者就労支援事業所「ていね・さくら館」のコラボによる「カレーパンワークショップ」に取り組んでいます。地元札幌の老舗カレー店の持つ味と技術力を障がい者就労支援事業所（パンの製作）に提供することで、美味しく質の高いパン作りにつなげる取組みです。

現在、カレー館の試作、パン生地とのバランスなど試行錯誤を重ね、オリジナルカレーパンの完成を目指して

います。また、パッケージやチラシなどのデザインには市内のデザイン事務所「fam/art inc」の協力をいただく予定です。

企業と学校、行政などがコラボして商品づくりを行うケースは多くありますが、今回のような地元企業のノウハウと障がい者支援を繋いで新しい商品を生み出す取組みは、他に例がないのではないのでしょうか。

今後は、パンの製作ワークショップや試食会を実施したあと、11月9日（金）・10日（土）開催の「ふくし用具機器展 in さっぽろ」（P07参照）の会場でテスト販売を行う予定です。



▲「インドカレーミルチ」「ていね・さくら館」との打ち合わせの様子

この記事へのお問い合わせは
総務課へ

●こまおか秋まつり

駒岡で人気の朝市をはじめ、フリーマーケット、縁日、ステージイベントなど催し物が盛りたくさんです。お祭りの最後は豪華景品が当たるビンゴ大会を開催！

地元で有名な「居酒屋よりみち」の焼き鳥などが味わえるビアガーデンもあり、幅広い年代の方が楽しめるお祭りです。ご家族、ご友人お誘いあわせのうえ、お気軽

にご来場ください。皆様のお越しを駒岡職員一同お待ちしております。

【日 時】 9月23日（日）9時00分～15時00分

【場 所】 札幌市保養センター駒岡
（札幌市南区真駒内600番地20）

【参加費】 無料



この記事へのお問い合わせは
札幌市
保養センター駒岡へ



●ふくし用具機器展 in さっぽろ2018

福祉用具を身近なものとして知ってもらうことを目的に毎年開催しており、「一般社団法人福祉用具供給協会北海道ブロック」の協力のもと、約40社の福祉用具関連企業が出展し最新の福祉用具を一同に集めた、北海道では最大規模のイベントです。

今年はウェアラブル(装着型)ロボットからコミュニケーションロボットまで様々な種類のロボットを揃えた「介護ロボット体験コーナー」や、一般の方から福祉専門職の方までを対象とした各種セミナー、毎年人気のケアシューズチャリティバザーなど様々な催しものを揃えています。

福祉用具は介護が必要な方のためのものでだけでなく、誰もが快適に生活するためのヒントが詰まっています。

「ふくし用具機器展 in さっぽろ2018」

【日 時】 11月9日(金) 10時00分～16時30分
11月10日(土) 9時30分～15時00分

【場 所】 札幌市医師会館5階
(札幌市中央区大通西19丁目)

【参加費】 無料

【お申込み】 不要

※セミナー参加は申込みが必要です。申込みは総務課へ。

この記事へ
お問い合わせは
総務課へ

◇セミナー ※要申込み

【11月9日(金)】

・10時15分～11時45分

「身の回りの整理から始める私の「終活」」

・12時15分～13時45分

「施設レクリエーションに使える原気けいらく体操」

・14時15分～16時15分

「ベッドの上のポジショニング、誤嚥リスクの低減から、車いすのシーティングまで分かりやすく」

【11月10日(土)】

・9時45分～11時15分

「元気におしゃれ！

メイクとウィッグのワンポイントアドバイス」

・11時45分～12時45分

「暮らしをたすける日常生活用品」

・13時10分～14時50分

ワークショップ

「身近なものを活用した福祉用具作成体験」



▲毎年、学生の皆さんも多数来場しています

●生涯現役セミナー

障がいのある人もない人も、赤ちゃんからお年寄りまで誰もが気軽に立ち寄ることのできる、友達作りの場所として自宅を開放した柴川氏を講師に迎えお話を伺います。後半は、北海道医療大学准教授 長谷川氏と対談形式で生涯現役である為のセルフプロデュース方法について学びます。



この記事へ
お問い合わせは
ボランティア
活動センターへ

【日 時】 10月30日(火) 13時30分～16時00分

【場 所】 札幌市教育文化会館 305研修室
(札幌市中央区北1条西13丁目)

【講 師】 むくどりホーム・ふれあいの会
会長 柴川 明子 氏
北海道医療大学 看護福祉学部
准教授 長谷川 聡 氏

【参加費】 500円(当日、受付にて徴収します)

【お申込み】 ボランティア活動センターへ



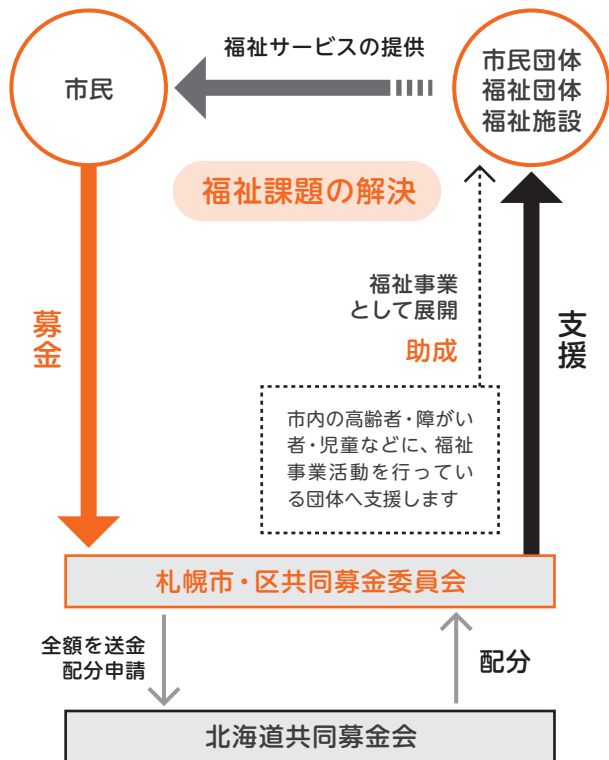
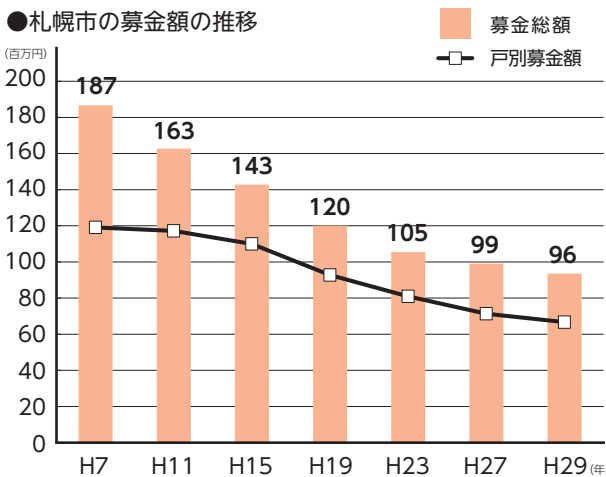
この記事へのお問い合わせは
札幌市
共同募金委員会へ

赤い羽根共同募金活動がスタートします！ご協力をよろしくお願いいたします

今年も赤い羽根共同募活動が始まります。赤い羽根共同募金は、「地域福祉推進のための募金」として、社会福祉法で定められた募金です。10月1日から、町内会などの協力による「戸別募金」、企業の協力による「法人募金」「職域募金」、街中などにおける通行人にお願いする「街頭募金」、生徒や学校の協力による「学校募金」などがあります。現在は、北海道内で約7.7億円、このうち約9.6千万円が札幌市で集められた募金で、札幌市民の皆様には、あたたかい善意をいただいています。しかしながら、募金額は減少傾向にあります。特に、募金額全体の7割を占める「戸別募金」は、毎年約250～300万円ずつ実績が減少しています。

そこで、道内のスポーツチームや初音ミクといったキャラクターがグッズとなり募金活動を後押しする「赤い羽根サポーター宣言」や、各区共同募金委員会でオリジナル募金付きバッジを製作し500円の募金で提供するなど、様々な取組みを行っています。

●札幌市の募金額の推移



募金実績に大きく貢献しています！

市共同募金委員会	北区	東区	白石区	厚別区
豊平区	清田区	南区	西区	手稲区
				中央区

●これらの各区オリジナル募金バッジは、1個500円で各区社会福祉協議会の事務所で提供しています。中央区は、路面電車開業100周年デザイン缶バッジを1個200円で提供。



SHAKYO 掲示板

福祉除雪協力員の募集

自力で除雪が困難な高齢者や障がい者を対象に、道路に面した出入り口部分(間口)と玄関先までの通路部分(敷地内)の雪を12月1日～3月25日の期間除雪してくださる個人・企業を募集しています。除雪協力員には、シーズン終了後に1世帯21,000円を活動費としてお支払いします。みなさんの優しさをスコープに込めて、ご自身の健康づくりにも役立つ除雪活動への協力をお願いします。

【お申込み・お問い合わせ】 地域福祉係・各区社会福祉協議会

大人のための朗読会

フリーアナウンサーの田中隆子さんによる文芸作品などの朗読を行います。

【日 時】 10月24日(水) 13時30分～

【会 場】 教育文化会館 4階 講堂

【参加費】 無料

【定 員】 計150名(先着順)

【お申込み開始日】 9月11日(火)

【お申込み・お問い合わせ】 情報センター資料室

さっぽろ子育てサポートセンター提供会員募集

育児の援助を受けたい人で行いたい人が会員になり、育児を手助けする「有償のボランティア事業」を行っています。子どもの見守りや保育園の送迎など、子育て中の方が、ちょっとした手助けが欲しい時のサポートです。登録後、11時間の講習があるので、安心して活動に入ることができます。

◇会員登録説明会

【日 時】 10月25日(木) 10時00分～11時30分

【場 所】 社会福祉総合センター ボランティア研修室A

【対 象】 札幌市在住、20歳以上の方

【お申込み開始日】 10月11日(木)

【お申込み・お問い合わせ】 さっぽろ子育てサポートセンター

高齢者保健福祉週間行事

9月は各老人福祉センターで「演芸大会」や「囲碁・将棋大会」などを開催します。上記以外にも、様々な行事を開催します。詳しくは各老人福祉センター発行の「センターだより」でご確認ください。

【場 所】 各老人福祉センター

【費 用】 無料

【お問い合わせ】 施設福祉係

社会福祉総合センター 保全工事に関するお知らせ

札幌市社会福祉総合センターでは、大規模な保全工事を行っています。工事期間中は会議室や駐車場、「カフェふらっと」などが利用できませんのでご了承ください。また、正面(西側)玄関が下記のとおり閉鎖されます。ご迷惑をおかけしますが東側玄関をご利用くださいますようお願いいたします。

【工事期間】 ～平成31年3月31日

◇正面玄関の封鎖

9月初め～12月末(東側玄関のみ通行可)

※工事の進捗状況により、変更になる場合もあります。

【お問い合わせ】 総務課

まもりん活動中

◇まもりんツイッター更新中

マスコットキャラクターのまもりんが社協に関する情報を日々発信しています。アカウント:mamorin93

◇ゆるキャラグランプリ2018 エントリー中!

WEB投票は「ゆるキャラグランプリ2018」オフィシャルサイトで11月9日(金)18時まで受付中です。応援をお願いします。

【お問い合わせ】 総務課



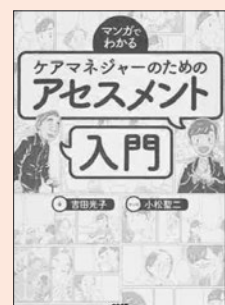
〈情報センター資料室発! 福祉関係者におすすめの一冊〉

「マンガでわかる ケアマネジャーのためのアセスメント入門」

吉田 光子・著/小松 聖二・マンガ 中央法規出版 定価/本体 1,800円(税別)

ケアプランセンターで働くケアマネジャーを描いたマンガを通して「アセスメント」について学ぶことができる本。仕事の様子をマンガで紹介した後、文章で解説しているので、臨場感を持って、課題や問題点に向き合うことができます。

本の貸出を希望される方は情報センター資料室にお越しください。
情報センター資料室で貸出している本やDVDの蔵書検索は、こちらからご覧になれます。
URL: <http://www.lib-finder.net/sapporo-shakyo/servlet/Index>



今月の
社協のひと

「次は何をしよう」って いつもワクワクしています

社協に興味を持ったきっかけは？

2000年に介護保険がスタートし、「これからの仕事だ！」と感じて福祉業界に入りました。他法人の特別養護老人ホームやデイサービスでの勤務などを経験するなかで、「社協」の名前は聞いたことがありましたが、どんなことをやっているのかは良くわかりませんでした。たまたまホームページを見て、「地域をまるごと支えている」ところなのだと感じ、ここで働いてみたいと思いました。

社協で実際に働いてみて

入社後すぐはヘルパーとして在宅生活の支援に関わっていました。利用者に来てもらうのではなく、こちらが自宅を訪問し、利用者の生活の中に入っていくヘルパーの仕事は、「その方の暮らしが心地よくなるためにはどうしたら良いか」を徹底的に考えるものであり、初心に帰ったような思いでした。

その後、現在の「まもりんガーデン澄川」の立ち上げに携わることになりました。デイサービスでは、施設などに入る手前の在宅生活を支えることで、利用者ができるだけ自宅での暮らしを長く続けられるように支援します。ただ、こちらから一方的に支援するだけではなく、「その方の目標は何なのか」を考え、利用者と一緒にそれを実現していくところがこの仕事の面白さでもあります。

また、「次の行事はあんなふうにしよう」など、自分で工夫して利用者から反応が返ってくるのが楽しいです。私は人と関わることが好きで、今の仕事が自分に合っていると思いますし、気持ちが豊かに過ごせていると感じます。

Profile プロフィール

ただ
多田 めぐみ

小規模デイサービス
まもりんガーデン澄川

入社日：
平成 29 年 6 月

趣味：
好きなアーティストのライブに行くこと

休みの日は：
子どもの習いごと

座右の銘：
七転び八起き



職場の雰囲気は

職場ではほとんど笑って過ごしています。利用者と職員は、ゲームの勝敗を本気ではりあうなど(笑)、垣根なく接しています。また、自宅と職場が近いこともあり、休みの日には子どもを連れてきて利用者と遊んでもらったこともあります。子どもも利用者も地域の一員なので、この「まもりんガーデン澄川」が世代間交流の場になればいいなと思っています。

これから就職を考えている方(学生の方)へのメッセージ

社協は、法律や決まりに基づいて、市民からの信頼に応えるために職務にしっかりと取り組んでいる組織だと思います。業務内容は地域支援や個別支援、ボランティア活動や子育て支援など幅広く、人の支援に関わる仕事がしたい方はぜひ一緒に働きましょう。また、私は子育てをしながら働いていますが、子育て中の職員にもやさしい職場だと思います。



